

各 位

2003年5月14日

会 社 名 株式会社 高島屋
 代 表 者 名 取締役社長 鈴木弘治
 コード番号 8233

2003年4月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	8.2	2.8	±0日
横浜店	2.3	2.1	±0日
新宿店	1.9	5.8	±0日
関東9店計	4.9	2.6	
大阪店	7.1	2.1	±0日
京都店	3.7	2.0	±0日
関西9店計	5.4	2.1	
全店計	5.1	2.4	
法人事業	8.2		
通信販売事業	17.6		
広域事業(店外)計	4.6		
合計	5.1		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。
 関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子
 大阪店売上には和歌山店・堺店を、京都店には洛西店を、横浜店には港南台店をそれぞれ含めています。

商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	9.7
婦人服・洋品	5.8
子供服・洋品	2.7
その他の衣料品	7.5
衣料品計	6.4
身の回り品	2.7
家具	16.3
家電	21.7
その他の家庭用品	4.6
家庭用品計	8.9
食料品	5.5
食堂・喫茶	3.1
雑貨	1.8
サービス	2.7
その他	3.7
合計	5.1

概況

百貨店事業	<p>売上高は月前半の低気温や降雨等の天候不順に加え、急激な株価下落等による消費マインドの減退により苦戦。ゴールデンウィークに入り復調の兆しを見せたが全店計で 5.1%と前年実績を下回った。</p> <p>店舗別では前年のリニューアルオープンの反動があった大阪店や郊外店の下げ幅が大きく、全店で低調な結果となった。</p> <p>商品別では特選衣料雑貨(+2.1%)が引き続き堅調に推移。一方、主力の婦人服(7.2%)、紳士服(7.7%)は気温が上昇した月後半にやや回復したものの、季節衣料の動きが鈍く低迷。婦人雑貨(4.8%)、紳士雑貨(10.0%)、子供服・ベビー(4.0%)、食料品(5.1%)等も前年実績を下回った。</p>
広域事業	<p>法人事業は大型物件受注により前年実績を上回った。通信販売事業はカタログ「初夏号」の出足が鈍く婦人雑貨、リビング用品等が苦戦、前年実績を下回った。</p>

以上